

【様式1】平成28年度 県中校長会 Web ページ版教育便覧

市町名	東広島市	学校名	もみじ中学校
校長名	中谷 成男	電話番号	082-420-9131
分野・領域	<input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 学力・学習意欲 <input type="checkbox"/> 生徒指導 <input type="checkbox"/> キャリア教育 <input type="checkbox"/> 学校・家庭・地域の連携・協力 <input type="checkbox"/> 学校経営 <input type="checkbox"/> 服務研修 <input checked="" type="checkbox"/> 教育研究 <input type="checkbox"/> 進路指導 <input type="checkbox"/> 食育 <input type="checkbox"/> 教育課程 <input type="checkbox"/> 体力づくり <input type="checkbox"/> 情報教育 <input type="checkbox"/> 伝統文化 <input type="checkbox"/> 情報発信 <input type="checkbox"/> 危機管理 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
研究主題	個を生かし、一人一人に「学力」をはぐくむ教育のあり方 ～教職員と学園職員が連携した学習指導を通して～		
当該ページのアドレス	http://www.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/site/momiji-sho-chu/		
研究内容	<p>【主題設定の理由】</p> <p>昨年度、本校の児童生徒に求められる資質・能力の整理を行い、「基礎的・基本的な知識・技能の定着」及びそれにつながる「自己肯定感の醸成」「共感力の育成」が課題として挙げられた。本校では、教職員による学習指導と学園職員による家庭学習指導を連携して行うことが可能である。さらに、教育活動推進において、教職員と学園職員による、児童生徒の習熟度に応じた学習やチームティーチングによる指導を実施している。これらを本校の強みとし、教職員と学園職員が連携した学習指導を実施することで、先述の資質・能力を育成し、個を生かし一人一人に「学力」をはぐくむことが可能になると考え、本研究主題を設定した。</p> <p>【研究仮説】</p> <p>教職員と学園職員が連携した学習指導を行えば、個を生かし一人一人に学力をはぐくむことができるであろう。</p> <p>【研究内容】</p> <p>児童生徒一人一人に学力をはぐくむ教職員と学園職員が連携した学習指導として、次の3点を研究する。</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 習熟度別指導及びチームティーチングの在り方 (2) 学習指導と家庭学習指導の連携の在り方 (3) 自己肯定感を醸成し共感力を育む授業の在り方 <p>【検証の視点及び指標】</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 児童生徒一人一人に主体的に学習に取り組む態度を養うことができたか。(行動観察・児童生徒意識調査) 		

	(2) 基礎的・基本的な知識・技能を習得させることができたか。 (自作テスト・習熟度テスト：中、単元末テスト：小 等) (3) 自己肯定感を高め、共感力を育むことができたか。 (行動観察・児童生徒意識調査)
備考	

【様式1】平成28年度 県中校長会 Web ページ版教育便覧

市町名	東広島市	学校名	安芸津中学校
校長名	國崎 康裕	電話番号	0846-45-0158
分野・領域	<input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 学力・学習意欲 <input type="checkbox"/> 生徒指導 <input type="checkbox"/> キャリア教育 <input checked="" type="checkbox"/> 学校・家庭・地域の連携・協力 <input type="checkbox"/> 学校経営 <input type="checkbox"/> 服務研修 <input checked="" type="checkbox"/> 教育研究 <input type="checkbox"/> 進路指導 <input type="checkbox"/> 食育 <input type="checkbox"/> 教育課程 <input type="checkbox"/> 体力づくり <input type="checkbox"/> 情報教育 <input type="checkbox"/> 伝統文化 <input type="checkbox"/> 情報発信 <input type="checkbox"/> 危機管理 <input type="checkbox"/> その他 ()		
当該ページのアドレス	http://www.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/site/akitsu-chu/		
研究主題	「思考力・判断力」の育成を図る授業の工夫 —総合的な学習の時間を柱として—		
研究内容	<p>1 主題設定の理由 これまで「表現力の育成」に視点をあて研究推進を行ってきたが、各種調査・アンケートから次の課題が見られた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・基礎基本の更なる徹底 ・「思考力」「判断力」を高める主体的な活動の充実が必要であり、全教科において、習得した知識等を活用し、「思考・判断」する学習過程を効果的に仕組む <p>このことから、教科ごとに精選した単元の中で特に「思考・判断」を必要とする効果的な学習過程を設定する。また、総合的な学習の時間を柱として身近な題材と自分をつなぎながら学習を進める。</p> <p>2 研究仮説 各教科の中で基礎基本の確実な定着を図り、総合的な学習の時間を柱として学年ごとに異なった視点で課題を設定し、解決させることで、既習事項を用いて活用する過程や方法を学び、「思考力・判断力」を育成できるであろう。</p> <p>3 研究内容</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 各教科・単元のつきたい力の明確化と更なる基礎基本の徹底に向けた学習のあり方 (2) 学校での学習と家庭での学習のあり方 (3) 身近な故郷を題材にして取り上げ、地域人材を積極的に活用し、自分と地域をつなぐ学習の工夫 		
備考			

【様式1】平成28年度 県中校長会 Web ページ版教育便覧

市町名	東広島市	学校名	磯松中学校
校長名	新谷継志	電話番号	082-428-6675
分野・領域	<input type="checkbox"/> 人材育成 <input checked="" type="checkbox"/> 学力・学習意欲 <input checked="" type="checkbox"/> 生徒指導 <input type="checkbox"/> キャリア教育 <input type="checkbox"/> 学校・家庭・地域の連携・協力 <input type="checkbox"/> 学校経営 <input type="checkbox"/> 服務研修 <input type="checkbox"/> 教育研究 <input type="checkbox"/> 進路指導 <input type="checkbox"/> 食育 <input type="checkbox"/> 教育課程 <input type="checkbox"/> 体力づくり <input type="checkbox"/> 情報教育 <input type="checkbox"/> 伝統文化 <input type="checkbox"/> 情報発信 <input type="checkbox"/> 危機管理 <input type="checkbox"/> その他 ()		
研究主題	「言語活動を通して確かな学力を育む授業の創造」 ～生徒指導の三機能を生かした、授業スタイルの実践を通して～		
当該ページのアドレス	www.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/site/isomatsu-chu		
研究内容	<p>① 研究主題の設定について</p> <p>本校においては、平成25年度から、「言語活動を充実させるための指導計画」や「磯松授業スタイル」を作成し取り組むことに加えて、生徒指導の三機能を取り入れた磯松授業スタイルの実践を積み上げてきている。これにより、生徒が分かる喜びや学ぶ意義を実感し、確かな学力をはぐくむことへとつなげていくことができている。本年度は、広島県で昨年度策定された「広島版『学びの変革』アクション・プラン」で育成すべき資質・能力でポイントとなる「知識を活用し、協働して新たな価値を生み出せるか」を意識した授業づくりを行うため、言語活動のあり方や生徒指導の三機能を再度見直し、これまでの磯松授業スタイルをより充実したものにしていきたいと考え、この研究主題を設定した。</p> <p>② 研究仮説</p> <p>生徒指導の三機能を生かした授業スタイルの実践を充実させれば、生徒一人一人が安心して自分の力を発揮できるようになり、学習意欲や学力が向上し、より確かな学力を育むことができるであろう。</p> <p>③ 研究内容</p> <ol style="list-style-type: none"> (1) 生徒指導の三機能を生かした授業スタイルの実践 (2) 学校教育全体の中で言語活動の充実を図る指導方法の実践 (3) 指導主事を招聘した授業研究・校内研修 (4) 家庭学習の習慣化 (5) 小中接続教育（E T） 		
備考			

【様式1】平成28年度 県中校長会 Web ページ版教育便覧

市町名	東広島市	学校名	河内中学校
校長名	亀井伸幸	電話番号	082-437-1128
分野・領域	<input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 学力・学習意欲 <input type="checkbox"/> 生徒指導 <input type="checkbox"/> キャリア教育 <input type="checkbox"/> 学校・家庭・地域の連携・協力 <input type="checkbox"/> 学校経営 <input type="checkbox"/> 服務研修 <input checked="" type="checkbox"/> 教育研究 <input type="checkbox"/> 進路指導 <input type="checkbox"/> 食育 <input type="checkbox"/> 教育課程 <input type="checkbox"/> 体力づくり <input type="checkbox"/> 情報教育 <input type="checkbox"/> 伝統文化 <input type="checkbox"/> 情報発信 <input type="checkbox"/> 危機管理 <input type="checkbox"/> その他 ()		
研究主題	基礎学力と表現力を高める授業の在り方 ～帯活動の充実と河内中学びのサイクルを通して～		
当該ページのアドレス	www2.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/~kochi-chu/		
研究内容	<p>【主題設定の理由】</p> <p>本校では表現力を「根拠をもって分かりやすく説明する力」と定義し、河内中学びのサイクル（思考→説明→まとめ→振り返り）の中にグループ活動等によって効果があがる学習場面を設定することなどを中心に取り組んできた。</p> <p>本年度は、これまでの研究の集大成として11月4日に公開研究会を実施する。昨年度までの研究を土台として継続しつつ、学びを主体的なものにしていくために、ねらいに迫る「課題の設定」や「表現の場の設定」などの工夫を通じて、授業の在り方について研究を進めることとした。</p> <p>【研究仮説】</p> <p>各教科等において、基礎的・基本的な知識・技能を習得させるための帯活動を充実させて学習の基盤を構築し、さらにねらいに迫る「課題の設定」と「表現の場の設定」を行う中で、河内中学びのサイクル（思考→説明→まとめ→振り返り）を充実させれば、生徒の基礎学力が高まり、表現力が身につくだろう。</p> <p>【研究内容】</p> <p>① 河内中学びのサイクルを基盤とした授業研究 ② 生徒が表現主体となる「学習の場」の設定 ③ 基礎的・基本的な知識・技能の定着を図るための、家庭学習も含めた効果的な指導方法の工夫</p>		
備考			

【様式1】平成28年度 県中校長会 Web ページ版教育便覧

市町名	東広島市	学校名	向陽中学校
校長名	大井博夫	電話番号	082-425-0007
分野・領域	<input type="checkbox"/> 人材育成 <input checked="" type="checkbox"/> 学力・学習意欲 <input checked="" type="checkbox"/> 生徒指導 <input type="checkbox"/> キャリア教育 <input type="checkbox"/> 学校・家庭・地域の連携・協力 <input type="checkbox"/> 学校経営 <input type="checkbox"/> 服務研修 <input type="checkbox"/> 教育研究 <input type="checkbox"/> 進路指導 <input type="checkbox"/> 食育 <input type="checkbox"/> 教育課程 <input type="checkbox"/> 体力づくり <input type="checkbox"/> 情報教育 <input type="checkbox"/> 伝統文化 <input type="checkbox"/> 情報発信 <input type="checkbox"/> 危機管理 <input type="checkbox"/> その他 ()		
研究主題	「主体的・協働的な学びの創造」 ～視覚的な課題設定の提示の工夫を通して～		
当該ページのアドレス	http://www2.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/~koyo-chu/		
研究内容	<p> <主題設定の理由> 本校では、平成15年度から選択や総合的な学習の時間において、和文化学習を教育活動に取り入れてきた。また、平成24年度から3年間、県の「学力向上総合対策事業」の指定を受け、小中連携を通して教科指導と生徒指導の両面から児童・生徒一人一人に確かな学力を育む授業づくりの実践的研修を行ってきた。このことは「向陽中学校区授業スタイル」として継続している。そのような中、平成27年度広島県「基礎・基本」定着状況調査の結果等から、家庭学習や下位集団の学力の向上等に関わり、和文化学習を含め、主体的に学ぶ意欲や態度が課題となった。本年度は、教科指導と生徒指導の両輪のもと、本校のコンピテンシーを教育指導に生かし、課題解決型の授業を生徒の主体的な学びに結びつけるべくこの研究主題を設定した。 </p> <p> <研究仮設> 視覚的な課題設定の提示の工夫、単元間や単元内の構造等の課題解決をめざす授業づくり、協働的な学びを追究した取組を行えば、生徒の学びの意欲や態度、学力の向上に結びつくであろう。 </p> <p> <研究内容> <input type="checkbox"/>生徒指導三機能を生かした授業スタイルの実践 <input type="checkbox"/>視覚的な課題設定や授業内のグループ活動、ポートフォリオ評価やパフォーマンス評価などの評価を生かした指導の充実 <input type="checkbox"/>指導主事を招聘した授業研究・校内研修・小学校参加型授業研究 <input type="checkbox"/>各種学力調査分析や本校独自の生活・学習アンケート調査分析 <input type="checkbox"/>家庭における学習習慣や生活習慣の定着を図るための指導の工夫 <input type="checkbox"/>授業規律の徹底を図る指導体制の確立、学力補充の取組 </p>		
備考			

【様式1】平成28年度 県中校長会 Web ページ版教育便覧

市町名	東広島市	学校名	東広島市立高屋中学校
校長名	奥村 和幸	電話番号	082-434-0011
分野・領域	<input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 学力・学習意欲 <input type="checkbox"/> 生徒指導 <input type="checkbox"/> キャリア教育 <input type="checkbox"/> 学校・家庭・地域の連携・協力 <input type="checkbox"/> 学校経営 <input type="checkbox"/> 服務研修 <input checked="" type="checkbox"/> 教育研究 <input type="checkbox"/> 進路指導 <input type="checkbox"/> 食育 <input type="checkbox"/> 教育課程 <input type="checkbox"/> 体力づくり <input type="checkbox"/> 情報教育 <input type="checkbox"/> 伝統文化 <input type="checkbox"/> 情報発信 <input type="checkbox"/> 危機管理 <input type="checkbox"/> その他 ()		
研究主題	「思考力・判断力・表現力を伸ばすための問題解決的な学習指導の充実」		
当該ページのアドレス	www2.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/~takaya-chu/		
研究内容	<p>1 研究主題設定の理由</p> <p>昨年度の「基礎・基本」定着状況調査では4教科合計の学校平均通過率が72%で、基礎的・基本的な学習内容は全体としてはほぼ定着していると考えられる。また、全国学力・学習状況調査では、国語・数学の2教科で、主として知識にあたるA問題の平均正答率76%、主として活用にあたるB問題の平均正答率は60%であった。これらの結果はいずれも県平均を上回ってはいるが、十分なものとはいえず、特に思考力・判断力・表現力を身に付けるための教育活動全体を通じた問題解決的な学習指導の工夫が求められる。</p> <p>2 研究仮説</p> <p>各教科において、課題を設定し、調べ、考え、話し合うなど繰り返し学習すれば、生徒の思考力・判断力・表現力を伸ばし、社会に必要な資質・能力（コンピテンシー）を育成することができるであろう。</p> <p>3 研究内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○学習指導要領を踏まえた思考力・判断力・表現力を伸ばすことをめざした授業づくり ○学習情報センターとしての学校図書館等を活用した課題を設定し、調べ、考え、話し合うなどの授業が展開できる単元の開発 ○校内研修で新しい教授法の研修 <p>4 検証の指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○校内研修実施状況・満足度アンケート調査 ○基礎基本調査・全国学力学習状況調査の結果 ○各種コンクールへの参加 ○生徒の学校評価（実態調査）・・・学校図書館利活用・掲示物等の工夫 		
備考			

【様式1】平成28年度 県中校長会 Web ページ版教育便覧

市町名	東広島市	学校名	高美が丘中学校
校長名	脇坂 治海	電話番号	082(434)0026
分野・領域	<input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 学力・学習意欲 <input type="checkbox"/> 生徒指導 <input type="checkbox"/> キャリア教育 <input type="checkbox"/> 学校・家庭・地域の連携・協力 <input type="checkbox"/> 学校経営 <input type="checkbox"/> 服務研修 <input checked="" type="checkbox"/> 教育研究 <input type="checkbox"/> 進路指導 <input type="checkbox"/> 食育 <input type="checkbox"/> 教育課程 <input type="checkbox"/> 体力づくり <input type="checkbox"/> 情報教育 <input type="checkbox"/> 伝統文化 <input type="checkbox"/> 情報発信 <input type="checkbox"/> 危機管理 <input type="checkbox"/> その他 ()		
研究主題	「認め合い，互いに高め合う生徒の育成」 ～ 教科や体験活動の特性を生かしたかかわり合いを通して ～		
当該ページのアドレス	URL http://www.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/site/takami-chu/		
研究内容	<p>教科や実践的体験的な活動の特性を生かした「かかわり合い」を，授業や部活動をはじめ，委員会活動や行事などの学校教育活動全体を通して取り組んでいくことで，生徒が互いに認め合い，高め合おうとする意識が向上すると考え，本研究を行うものである。研究にあたっては，次の4点を中心に取り組んでいくこととする。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1. 授業や道徳の時間において，生徒の共感的な人間関係を育てる。 <ul style="list-style-type: none"> ・教科の特性を明らかにするとともに特性を生かし，ねらいを明確にした「かかわり合い」を取り入れた授業を実施する。 2. 実践的体験的な活動を充実させ，生徒の自己有用感を育む。 <ul style="list-style-type: none"> ・「学校緑化活動」を通して，豊かな心を育むとともに，持続可能な社会づくりの担い手を育む教育(ESD)を推進する。 3. 小中一貫・接続教育の充実を図り，生徒の学びと育ちを支援する体制を整える。 <ul style="list-style-type: none"> ・校区1小学校の特性を生かし，9年間を通して連続性かつ一貫性のある指導を行う。 4. 学校教育活動全体の連動による研究体制を整え，学びの変革に向けた授業の改善と工夫に取り組んでいく。 <ul style="list-style-type: none"> ・広島版学びの変革アクションプランに基づき，生徒の主体的な学びを実現させる「課題発見・解決学習」のあり方について，各教科の特性に照らし合わせて実践していく。 		
備考	平成27，28年度東広島市教育推進指定校		

【様式1】平成28年度 県中校長会 Web ページ版教育便覧

市町名	東広島市	学校名	東広島市立黒瀬中学校
校長名	石井 博基	電話番号	(0823) 82-2039
分野・領域	<input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 学力・学習意欲 <input type="checkbox"/> 生徒指導 <input type="checkbox"/> キャリア教育 <input type="checkbox"/> 学校・家庭・地域の連携・協力 <input type="checkbox"/> 学校経営 <input type="checkbox"/> 服務研修 <input checked="" type="checkbox"/> 教育研究 <input type="checkbox"/> 進路指導 <input type="checkbox"/> 食育 <input type="checkbox"/> 教育課程 <input type="checkbox"/> 体力づくり <input type="checkbox"/> 情報教育 <input type="checkbox"/> 伝統文化 <input type="checkbox"/> 情報発信 <input type="checkbox"/> 危機管理 <input type="checkbox"/> その他 ()		
研究主題	<p>「基礎的・基本的な学力を身につけ、学ぶ意欲を持った生徒を育成するための学習指導の工夫 ～目標達成に向け生徒相互に関わり合う言語活動の工夫を通して～」</p>		
当該ページのアドレス	www.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/site/kurose-chu/		
研究内容	<p>①研究仮説 目標達成に向け生徒相互に関わり合う言語活動の工夫をすれば、基礎的・基本的な学力を身につけ、学ぶ意欲を持った生徒になるだろう。</p> <p>②研究内容 <input type="checkbox"/>目標達成に向け生徒相互に関わり合う言語活動の工夫 課題設定の工夫、集団形態の工夫、表現形態の工夫 知識活用の工夫、振り返りの工夫</p> <p>③検証の指標 <input type="checkbox"/>基礎的・基本的な学力の検証 ・全国学力・学習状況調査、広島県「基礎・基本」定着状況調査の結果 ・習熟度テストの結果 ・定期テスト内評価問題の結果 <input type="checkbox"/>学ぶ意欲の検証 ・全国学力・学習状況調査、「基礎・基本」定着状況調査のアンケート ・自校作成生徒アンケート <input type="checkbox"/>指導状況の検証 ・自校作成教師アンケート ・自校作成生徒アンケート</p>		
備考			

【様式1】平成28年度 県中校長会 Web ページ版教育便覧

市町名	東広島市	学校名	志和中学校
校長名	森岡勝司	電話番号	082-433-2019
分野・領域	<input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 学力・学習意欲 <input type="checkbox"/> 生徒指導 <input type="checkbox"/> キャリア教育 <input type="checkbox"/> 学校・家庭・地域の連携・協力 <input type="checkbox"/> 学校経営 <input type="checkbox"/> 服務研修 <input checked="" type="checkbox"/> 教育研究 <input type="checkbox"/> 進路指導 <input type="checkbox"/> 食育 <input type="checkbox"/> 教育課程 <input type="checkbox"/> 体力づくり <input type="checkbox"/> 情報教育 <input checked="" type="checkbox"/> 伝統文化 <input type="checkbox"/> 情報発信 <input type="checkbox"/> 危機管理 <input type="checkbox"/> その他（ ）		
研究主題	自他を認め 自尊感情を高める道德教育の想像 ～生徒の心に響く指導方法の工夫をとおして～		
当該ページのアドレス	www2.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/~shiwa-chu/		
研究内容	(1) 生徒の心に響く道德教育の推進 ・ローテーション授業の実践による指導方法の工夫と授業力の向上 ・小グループ活動を取り入れることによる「考え、議論する」道德の充実 (2) 小学校との連携を生かした道德教育の推進 ・義務教育9年間を見通した重点項目の設定と実践 (3) 家庭や地域と連携して進める道德教育の推進 ・道德の時間との関連を図るための体験的活動や家庭・地域への情報発信		
備考	文部科学省委託「道德教育改善・充実」総合対策事業指定校		

【様式1】平成28年度 県中校長会 Web ページ版教育便覧

市町名	東広島市	学校名	松賀中学校
校長名	舛金 智秋	電話番号	082-422-6277
分野・領域	<input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 学力・学習意欲 <input type="checkbox"/> 生徒指導 <input type="checkbox"/> キャリア教育 <input type="checkbox"/> 学校・家庭・地域の連携・協力 <input type="checkbox"/> 学校経営 <input type="checkbox"/> 服務研修 <input checked="" type="checkbox"/> 教育研究 <input type="checkbox"/> 進路指導 <input type="checkbox"/> 食育 <input type="checkbox"/> 教育課程 <input type="checkbox"/> 体力づくり <input type="checkbox"/> 情報教育 <input type="checkbox"/> 伝統文化 <input type="checkbox"/> 情報発信 <input type="checkbox"/> 危機管理 <input type="checkbox"/> その他（小中高英語教育強化拠点事業指定校：文部科学省：H26～29）		
研究主題	思考力・表現力を育てる授業のあり方 —「思考スキル」と「表現スキル」を活用した授業づくりを通して—		
当該ページのアドレス	http://ns.city.higashihiroshima.hiroshima./matsuga-chu/		
研究内容	<p>① 研究主題の設定について</p> <p>本校では、基礎的・基本的な知識・技能はほぼ定着しているものの、思考を深めたり説明をしたりする問題に課題があり、また、人前で自分の思いを話すことに苦手意識を持つ生徒が多い傾向にある。</p> <p>これは本校で取り組んできた思考力・表現力の育成がまだ十分には成果を挙げていないことを表しており、思考力・表現力の基盤となる言語に関する能力を育成するためには各教科において細かなステップで思考させ、表現させるためのスキルを活用させることが必要だと考える。</p> <p>そこで、基礎的・基本的な知識・技能の習得、思考力、表現力の育成、主体的な学びの創造を研究の柱とし、授業の中で「思考スキル」と「表現スキル」を活用し、これらを習得させることで、思考力・表現力を育成する「授業のあり方」を研究することとした。</p> <p>② 研究仮説</p> <p>松賀中学校授業スタイルに沿った授業展開の中で、「思考スキル」と「表現スキル」の活用を学ばせれば、生徒の思考力・表現力を育てることができるであろう。</p> <p>③研究内容</p> <p>「習得の確認」→「目標の確認」→「個人思考」→「集団思考」→「個人思考」→「まとめ」を基本とした「松賀中学校授業スタイル」の中に「思考スキル」（生徒が自分の考えを整理し、根拠を筋道立てて考えるためのツール）「表現スキル」（自分の考えを相手にわかりやすく伝えるためのツール）の活用場面を設定する。そして、検証の指標によって成果と課題を検証し、授業改善を図る等、PDCAサイクルを活用した研究を推進する。</p>		
備考			

【様式1】平成28年度 県中校長会 Web ページ版教育便覧

市町名	東広島市	学校名	西条中学校
校長名	中森 英雄	電話番号	082-423-2529
分野・領域	<input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 学力・学習意欲 <input type="checkbox"/> 生徒指導 <input type="checkbox"/> キャリア教育 <input type="checkbox"/> 学校・家庭・地域の連携・協力 <input type="checkbox"/> 学校経営 <input type="checkbox"/> 服務研修 <input checked="" type="checkbox"/> 教育研究 <input type="checkbox"/> 進路指導 <input type="checkbox"/> 食育 <input type="checkbox"/> 教育課程 <input type="checkbox"/> 体力づくり <input type="checkbox"/> 情報教育 <input type="checkbox"/> 伝統文化 <input type="checkbox"/> 情報発信 <input type="checkbox"/> 危機管理 <input type="checkbox"/> その他 ()		
当該ページのアドレス	http://www2.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/~saijo-chu/		
研究主題	生徒が主体的に学ぶ授業づくりの工夫 ～課題発見・解決学習の単元(題材)の活用を通して～		
研究内容	<p>① 主題設定の理由</p> <p>本校では、確かな学力の育成を目指し、基礎・基本を徹底するとともに、「『伝え合い』で自分を伸ばす」を合言葉に、「言語活動の充実」・「ICT教育」・「特別支援教育」を三つの柱として「思考力・判断力を高める授業」に取り組んできた。</p> <p>その取組は一定の成果を挙げ、平成27年度広島県「基礎・基本」定着状況調査、全国学力・学習状況調査の結果はいずれも県平均・全校平均を上回った。このことから、基礎・基本の力に関しては、概ね定着が図られていること、教科で学習した知識・技能を実生活や学習の様々な場面に活用する力も、一定以上の力がついていることが分かった。しかし、意識調査から、情報を収集する力、予測して計画を立てる力、主体的に学ぶ態度に課題があることが分かった。このことは、「主体的な学び」に関して効果的な指導に至っていないことによると考えられる。</p> <p>以上のことから先行研究を活用し、新たに「課題発見・解決学習」の単元を開発することで生徒が主体的に学ぶ授業づくりの工夫が推進されようと考え、本主題を設定した。</p> <p>② 研究仮説</p> <p>課題発見・解決学習の単元を活用することによって、生徒が主体的に学ぶ授業づくりの工夫が図れるであろう。</p> <p>③ 研究内容</p> <p>「課題発見・解決学習」を取り入れた単元計画の効果的な活用(単元のつながり、系列、教材、指導内容・方法、評価方法)についての研究。</p> <p>④ 検証の指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「全国学力・学習状況調査」の結果 ・「基礎・基本」定着状況調査の結果 ・標準学力検査CRTの全国平均の結果 ・生徒アンケート、教師アンケート結果 		
備考			

【様式1】平成28年度 県中校長会 Web ページ版教育便覧

市町名	東広島市	学校名	中央中学校
校長名	左田和幸	電話番号	082-431-5055
分野・領域	<input type="checkbox"/> 人材育成 <input checked="" type="checkbox"/> 学力・学習意欲 <input checked="" type="checkbox"/> 生徒指導 <input type="checkbox"/> キャリア教育 <input type="checkbox"/> 学校・家庭・地域の連携・協力 <input type="checkbox"/> 学校経営 <input type="checkbox"/> 服務研修 <input checked="" type="checkbox"/> 教育研究 <input type="checkbox"/> 進路指導 <input type="checkbox"/> 食育 <input type="checkbox"/> 教育課程 <input checked="" type="checkbox"/> 体力づくり <input type="checkbox"/> 情報教育 <input checked="" type="checkbox"/> 伝統文化 <input type="checkbox"/> 情報発信 <input type="checkbox"/> 危機管理 <input type="checkbox"/> その他 ()		
研究主題	主体的・協働的・創造的に学ぶ生徒の育成 ～効果的なアクティブ・ラーニングの授業実践を通して～		
当該ページ のアドレス	www.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/site/chuou-chu/		
研究内容	<p>① 研究主題設定の理由 昨年度は、各教科において「主体的な学び」の具体像を持ち、授業を4つのステップで構成することを通して生徒の「論理的思考力」を育む研究を進めた。 その結果、教職員の意識が高まり、課題発見・解決学習への授業改善はある程度進んだ。しかしながら、「基礎・基本」定着状況調査におけるタイプⅡの結果からは、生徒に確かな学力を付けるための効果的な課題発見・解決学習ではなかったことが分かった。 そこで本年度は、改めて「主体的な学び」について理論構築し、課題発見・解決学習を充実させるために、「アクティブ・ラーニング」に焦点を当てて研究を進めていきたい。さらに、昨年度まで実践してきた4つのステップについても、教科の特性に応じた授業展開を、教科や単元に応じて柔軟性を持たせていきたい。こうした研究を進めることによって、主体的・協働的・創造的に学ぶ生徒を育成することができると思う。</p> <p>② 研究仮説 授業において、効果的なアクティブ・ラーニングを展開することで、主体的・協働的・創造的に学ぶ生徒を育成することができるであろう。</p> <p>③ 研究内容 ・「主体的な学び」に関する研究。 ・効果的な「アクティブ・ラーニング」に関する研究。 ・教科の特性に応じた「主体的・協働的・創造的な学び」に関する研究。 ・4つのステップを基本とする深い学びを実現する授業モデルに関する研究。</p> <p>④ 検証の指標 ・昨年度の全国学力・学習状況調査及び「基礎・基本」定着状況調査結果等と本年度のそれとの比較をする。 ・取組前と取組後の生徒及び教職員のアンケート結果を比較する。 ・ノート等、学習活動の成果物</p>		
備考			

【様式1】平成28年度 県中校長会 Web ページ版教育便覧

市町名	東広島市	学校名	八本松中学校
校長名	松原 真奈美	電話番号	082-428-0202
分野・領域	<input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 学力・学習意欲 <input type="checkbox"/> 生徒指導 <input type="checkbox"/> キャリア教育 <input type="checkbox"/> 学校・家庭・地域の連携・協力 <input type="checkbox"/> 学校経営 <input type="checkbox"/> 服務研修 <input checked="" type="checkbox"/> 教育研究 <input type="checkbox"/> 進路指導 <input type="checkbox"/> 食育 <input type="checkbox"/> 教育課程 <input type="checkbox"/> 体力づくり <input type="checkbox"/> 情報教育 <input type="checkbox"/> 伝統文化 <input type="checkbox"/> 情報発信 <input type="checkbox"/> 危機管理 <input type="checkbox"/> その他 ()		
研究主題	主体的に学び共によりよく生きようとする生徒の育成 ～「課題発見・解決学習」のカリキュラム開発を通して～		
当該ページのアドレス	http://www2.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/~hachihon-chu/		
研究内容	<p>①研究仮説</p> <p>資質・能力の育成に効果の高い課題発見・解決学習のカリキュラム開発を行えば、主体的に学び、共によりよく生きようとする生徒を育成することができるであろう。</p> <p>②研究内容：「課題発見・解決学習」を取り入れたカリキュラム開発（年間指導計画及び単元計画）、教材、指導内容・方法、評価方法についての研究</p> <p>【カリキュラム開発教科】国語，社会，数学，理科，音楽，美術，保健体育，技術家庭科，英語，総合的な学習の時間，特別支援教育</p> <ul style="list-style-type: none"> ○課題発見・解決学習を取り入れた単元開発 ○効果的な課題設定の在り方（パフォーマンス課題の設定等） ○効果的な思考ツールの活用 ○効果的な評価方法（パフォーマンス評価，1枚ポートフォリオ等） <p>③検証の指標</p> <ul style="list-style-type: none"> ○「全国学力・学習状況調査」B問題の正答率（①全体の正答率，②正答率30%未満の生徒の割合） ○「広島県『基礎・基本』定着状況調査」思考力・表現力の問題の通過率（①全体の通過率，②通過率30%未満の生徒の割合） ○「標準学力調査」活用に関する問題の正答率（①全体の正答率，②正答率30%未満の生徒の割合） ○意識調査による意欲・意識の高まり ○作成した評価指標による評価 		
備考			

【様式1】平成28年度 県中校長会 Web ページ版教育便覧

市町名	東広島市	学校名	福富中学校
校長名	井村誠治	電話番号	082-435-2341
分野・領域	<input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 学力・学習意欲 <input type="checkbox"/> 生徒指導 <input type="checkbox"/> キャリア教育 <input type="checkbox"/> 学校・家庭・地域の連携・協力 <input type="checkbox"/> 学校経営 <input type="checkbox"/> 服務研修 <input checked="" type="checkbox"/> 教育研究 <input type="checkbox"/> 進路指導 <input type="checkbox"/> 食育 <input type="checkbox"/> 教育課程 <input type="checkbox"/> 体力づくり <input type="checkbox"/> 情報教育 <input type="checkbox"/> 伝統文化 <input type="checkbox"/> 情報発信 <input type="checkbox"/> 危機管理 <input type="checkbox"/> その他 ()		
研究主題	課題解決型授業の充実を中心とした指導方法の工夫改善 ～小規模校の特性をいかして～		
当該ページのアドレス	www2.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/~fukutomi-chu/		
研究内容	<p> 《主題設定の理由》 平成25年度より、課題解決型授業の充実に取り組むこととした。課題解決型授業とは、生徒が、課題を解決する過程で、身につけた「知識・技能」を使って「書く」「聴く」「考える」「説明する」などといった言語活動を通して「思考力・判断力・表現力」をはたらかせ、ねらいにせまる学習活動であり、この過程を通して学力の向上が図ることができると考えられる。 本年度も引き続き小規模校の特性をいかした、かかわりきる指導により、『生徒が関心をもって取り組むことのできる課題の設定・発問の工夫・板書の工夫』を通じた課題解決型授業を充実させていくことをねらいとして取り組むこととした。 </p> <p> 《研究仮説》 「各教科において、小規模校の特性をいかし、言語活動を充実させた課題解決型の授業の工夫改善を行うことで、学力の向上を図ることができるであろう。」 </p> <p> 《研究内容》 (1) 言語活動を充実させた課題解決型の授業の工夫改善 (2) 思考力・判断力・表現力を深化・拡充させる発問の工夫改善 (3) 思考力・判断力・表現力の活用をうながす板書・手引きの工夫改善 </p>		
備考			

【様式1】平成28年度 県中校長会 Web ページ版教育便覧

市町名	東広島市	学校名	豊栄中学校
校長名	新谷 三平	電話番号	(082)432-2351
分野・領域	<input type="checkbox"/> 人材育成 <input type="checkbox"/> 学力・学習意欲 <input type="checkbox"/> 生徒指導 <input type="checkbox"/> キャリア教育 <input type="checkbox"/> 学校・家庭・地域の連携・協力 <input type="checkbox"/> 学校経営 <input type="checkbox"/> 服務研修 <input checked="" type="checkbox"/> 教育研究 <input type="checkbox"/> 進路指導 <input type="checkbox"/> 食育 <input type="checkbox"/> 教育課程 <input type="checkbox"/> 体力づくり <input type="checkbox"/> 情報教育 <input type="checkbox"/> 伝統文化 <input type="checkbox"/> 情報発信 <input type="checkbox"/> 危機管理 <input type="checkbox"/> その他 ()		
研究主題	自ら学び、表現する生徒の育成 ～ICTを効果的に活用した指導方法の工夫～		
当該ページのアドレス	www.city.higashihiroshima.hiroshima.jp/site/toyosaka-chu/		
研究内容	<p>①研究主題の設定について</p> <p>本校は、各クラスに電子黒板及びコンピューター・書画カメラが設置されており、デジタル教科書やパワーポイント・書画カメラ等を活用した授業を行っている。これまで、「課題設定や課題研究の場において、ICTを効果的に活用し、指導方法の工夫を行うことで、自ら学ぶ姿勢が培われ、表現力が向上するであろう。」と設定し研究を進めてきた。成果として「基礎的・基本的な知識・技能を習得することや、習得した知識・技能を活用して課題を解決するために必要な思考力・判断力・表現力等を育成するうえで、ICTが効果的に働いている」ことがわかった。</p> <p>平成30年度「学びの変革」アクション・プランに基づく授業展開を全ての教科において実施するべく、今年度は、地域社会や身の回りにあるものを題材として活用し、「学びの変革アクション・プラン」にうたわれている主体的な学びに結び付くような活動を仕組み、ICTの活用とも併せて、より表現力を向上させたいと考え、本研究主題を設定した。</p> <p>②研究仮説</p> <p>課題設定・課題探究の場において、生徒にICTを活用した資料提示や説明、発表等を行わせることによって、自ら学ぶ姿勢が培われ、表現力が向上するであろう。</p> <p>③研究内容</p> <p>表現力を高めるためのICTを効果的に活用した指導方法の工夫について研究を進める。</p>		
備考			